令和元年度前期学校評価アンケート（保護者対象）集計結果から

本年度、保護者を対象とした前期学校評価アンケートを10月に実施しました。昨年度のアンケート質問項目の内容を変更しましたので、昨年までとの直接の比較はできませんが、集計結果の分析と今後の対策について考え、お子様の健全な成長のために学校と家庭が連携した取り組みを行っていきたいと考えています。

今回の結果を全体的に見ると、評価項目26項目中21項目が3点以上の評価でした。

- 「学習指導」は、5項目中4項目が2点台でした。特に読書時間の確保についてはテレビやゲーム、または習い事の時間との関係もあるかと思えます。学校でも子どもたちがより読書に親しめるようにさまざまな取組を進めています。ご家庭でも図書室で借りた本の内容を話題にされたり、週末には本を持ち帰り、土日は読書の時間を確保するよう声かけをしていただければと思います。また、家庭学習についても各ご家庭としっかり連携をとりながら、家庭学習の時間の確保、定着を図っていくとともに、ノーメディアの取組の結果や家庭にお願いしたいことなどを学年通信や懇談会等でお伝えし、お互いに共有していきたいと思えます。
 - 「健康教育」は、5項目ともすべて3点以上でした。何よりも子どもたちが毎日楽しく、元気に登校していることに関して数値が高かったのはひじょうに嬉しいことでした。部活動廃止により体力低下とならないように、体育の授業の充実や全校体育の工夫、昼休み時間の外遊びの奨励など体力向上につながる取組を進めています。ご家庭でもお子様が長時間テレビやゲームなどに没頭されている時には、外で遊ぶことを勧める声かけをしていただくなど体力向上に向けた取組をお願いいたします。
 - 「心の教育」は、友だちとの関係が良好であることが数値として表れていました。お互いのよさや違いを認め合える時間（朝の会、帰りの会、学級通信でそれぞれのよさを見つける時間の確保、人権学習の充実など）を大切にして、だれもが楽しく元気に学校生活を送れるようにしています。今後も子どもたちの様子を把握し、教育相談（ふれあいタイム）の時間等で、困っていることがないかしっかりと聞き取るなど一人一人と話す時間を十分に確保していきます。また、子どもたちそれぞれのがんばりを学年通信やホームページなどで紹介し、家庭、地域に伝えていきます。
- 基本的な生活習慣の定着については、自主的な大きな声での挨拶や返事ができるように年度初めから全職員で共通理解のもと、力を入れてきました。年度初めに比べると気持ちのよい元気な挨拶が聞こえるようになりました。後期は「1回でできるようになろう」とレベルを上げて取り組んでいます。ご家族間での挨拶、地域の方々への挨拶の中で、相手よりも先に明るく元気で気持ちのよい挨拶や返事ができるよう、ご家庭での励ましも引き続きお願いいたします。
- 「信頼される学校づくり」は、11項目全てにおいて3点以上であり、ある一定の評価は得ていると言えますが、より信頼される学校づくりに向けて取り組みたいと考えます。「子どもたちそれぞれの力が伸びるために」「子どもたちが安心・安全に活動できるために」ということをベースに、学校・家庭と共通意識を持ち、お互いに連携・協働しながら「地域と共にある学校」として進めていきます。また11項目中最も数値が高かった項目が「学校からの情報発信」です。学年通信、学校だより、ホームページ、安心メール、授業参観など、授業中や学校行事における子どもたちの様子を今後も発信していきたいと思えます。今後も引き続き、ホームページをご覧くださいよう願います。

意見としては、以下に示したものが書かれていました。これらに関しましては、学校やPTA、豊水まちづくり委員会等の各関係団体とも今後検討していきます。

○後期のことにはなるが、「豊水まつり」の時間短縮になったものの、準備開始時間が例年よりも早い（8時～）となっているのは何故か？また、地域（他の保育園や幼稚園）との行事が重なっても考えて、日程の調整はできないのでしょうか？

○親子美化作業の時間長すぎ（ダラダラ作業して結局帰るとき、雨に打たれた）。

○毎日ランドセルなど荷物が重たい。置き勉、検討してほしい。

アンケートへのご回答及びご意見、ご要望を記入いただき、ありがとうございました。

今後も何かありましたら、学校までご連絡ください。